

おお大勝利

平成 30 年度山東サッカー一部報第 7 号 (6 月 21 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y2A 山形中央 C に辛勝

6 月 9 日 (土) Y2A 第 4 節の山形中央 C 戦が行われました。県総体からすぐの週であり、6 月 11 日～13 日に前期中間考査を控え、テスト休み期間中に行われるタイトな日程。テストによる部活動停止期間中ながら、公式戦のため 6 月 7 日と 8 日に練習し、9 日に臨む。

山東では、県内の進学校では珍しく、**県リーグ前期をもって 3 年生の引退**としている。もちろん一昨年のユートや昨年のカンタのように選手権まで残ることを否定はしませんが、「選手権まで全員残らせる」までには至っていない。それでも県内の他の進学校のように、地区総体や県総体をもって終了ではなく、リーグ戦ですべてのチームと当たっての**前期優勝を目標の一つ**としている。この区切り、結構良いと思うのだが、他の進学校で追随してくれるところが少ない (というよりない)。山東では、**ヨシタカの代** (山東第 64 回卒) からですので、今年で 6 年目となる。ただ、県総体で負けてから、テストがあったり、山東祭の準備があったり、クラスマッチ・体育祭があったりする中で、リーグ戦のみでの現役を続けるのは、いろいろな意味で難しくはある。「良い区切りだから、他も絶対にマネをしてもらいたい」とまでは言い難いか。過去振り返ると、**県総体後もチーム力が上がり、最高の形で引退を迎えた代の方が少ない**。

そんな難しい期間の県リーグが、県総体後にすぐやってきた。相手は山形中央 C。A チームはプリンスリーグ東北、B チームは Y1 に在籍。強豪チームの C だけに、メンバーを確認すると、名だたるクラブチーム出身者で占められている。ただ、B や C には負けてはいけないという気持ちもあり、気後れしている場合ではない。会場は相手のホームの山形中央高校会場 (クレール=土)。久しぶりのクレールでの県リーグとなりますが、普段クレールで練習しているわけで、特別の気持ちは起きない。

清野総監督、工藤先輩、後藤報道局長といういつもの御三方は、県総体後もいつも通りいらっしゃる。だけでなく、試合前、**名和トレーナー**が立ち寄ってくれた！ 名和さんは、**ショータの代** (63 回卒) から**タイチの代** (66 回卒) くらいまで山東のトレーナーとしてお世話になり、その後、**ヨーロッパでご活躍**。羽入、東根、山形にとどまらず、日本を代表するトレーナーになりつつある。この日は一時帰国の折に予定を確認して寄ってくれたみたい。今年からチームを変えるようで、新しい場もヨーロッパにて探しているとのこと。その履歴書のトップ (最初) には「山形東高校サッカー部トレーナー」と書いてくれているはずであり、山東としてはサッカー部の OB ではありませんが、名誉 OB のような存在。私も、名和さんと一緒に、苗場に行ったり、越谷に行ったりした日々が懐かしい。**名和さん、引き続きご活躍を！ 新しいチーム、決まったら教えてくださいね。**

この試合、**1 年生右 SB ユースケ**と**左 SH ナカノ**が初先発。ということは、**CB で 1 年生ヤグチ**が**全試合先発**しているし、この日は**右 SH でユッキーことツノダ**が**同じく全試合先発**し

ているわけで、**全4名の1年生が先発に名を連ねた**。こんなことはこれまでの山東で初めての
こと。1年生が素晴らしいのか、2・3年生が慎重深く1年生に先を譲る選手が多いのか・・・
前者ということにすると、立ち上がりは、山東にとって必ずしも良くない。ディフェン
スラインのクリアが中途半端で、何となく押し込まれる見慣れた光景。山中Cにはボール扱
いの上手な選手が多くいる。ただ1・2年主体の若いチームであり、隙を突いてゴールを陥れ
る力強さが課題か。それで何とか持ち堪えているだけで、山東の戦い、隙多し。**先週(羽黒
戦)は選手の「死に物狂い」を感じたが、残念なことにもいつも通りの山東に戻っている**。日常
を変えていくことが重要と話し合っているが、頭で分かっていることと実際に表現するこ
ととの開きはかなりある。開始数分で、1年ナカノ負傷退場。積極的なプレーをする前に負傷
してしまい、残念。彼は、スピードがあるだけでなく、(最近の選手に珍しいが)そこそこキ
ックもうまい。ただ、高いレベルの中でまったく揉まれていない「井の中」状態であり、伸び
代だらけ。さて、前半の中盤CKを得る。最近の山東、セットプレーの得点が多い。ちょっ
と前には考えられない状態。すると、**2年ノブ**の蹴ったボールは、ヤグチの下に送られたと表
現するべきか、ヤグチが軌道を読み合わせたというべきか、ともかく**ヤグチの頭にドンピシ
ャ当たり、ネットを揺らし、山東先制**に成功。前半にはもう一本、ヤグチが頭で完璧に捉えた
CKがあり、それは叩き切れずクロスバーの上に行きましたが、やはりヤグチ、何か持っている。
といっても、ボールを偶然にも自分のところに引き寄せる力があるのではなく、彼は**ボ
ールの軌道を読む力が長けている**。身長や偶然ではなく、空間把握の力が他の選手と全然違
う。実は後半もドンピシャ当たり、惜しくも得点はならなかったが、「なぜ彼ばかり」という
ベンチの声もある。しかし、偶然ではなく、やはり能力と言う外ない。ただし、ヘディング自
体はあまり上手ではなく、**ヘディング(のフォーム)だけ取ったら主将の3年フトシの方が
よほどうまい**。ということは、正しいヘディングのフォームを彼が身につけたら・・・これは
山東の将来楽しみですね。

後半も危ないシーンがあり、1対0のまま試合が終わるはずもないという覚悟はしていま
したが、相手チームの逸機もあり、**結果的にはこのままのスコアで山東の辛勝**。前後半通じ
て、アバウトな展開が多く、後藤報道局長がHPの中で嘆いておりましたが、パスワークら
しきものが見当たらなかった。これは反省点。結果を残したという点では公式戦の及第点で
はありますが、内容的には見るべきものが少なかった。**これまで出場機会の少なかった3年
応援団長(本物)のGKカイチ**が先発し、ゴールマウスを死守したこと(でも見せ場は少なか
ったか)、**1年ユースケ**が初先発しクレバーな守備で初めてとしては及第点だったこと、県総
体を経て先発を外れた、または、1年生に先を越された**2年のニコラスとダイキ**が途中交代
で入り必死にプレーしていたこと等が収穫ではありましたが、もう少しチャンスを作りたか
った。

応援ありがとうございました。東北選手権(6/14~18)による中断を経て、今週末も県リ
ーグがやってきます。現在、テスト休みがあつてさほどトレーニングをしていないにもかか
わらず、全学年で故障者続出。特に1年生は、トレーニングを積んで故障しない体・プレー
を身につけなければいけないが、トレーニングは故障をもたらしもする。その相克の中で、
たくましく育たなければならない。まずはウォームアップ、クールダウンにおける自分の体
への高い意識を持ってもらいたい。応援よろしくお願ひします。

6月24日(日) Y2A 第5節 新庄東戦 10:00~@米沢工業高校 G